

序

当教育研究所では、平成8年度も恒例の事業となっている教育論文集の刊行を企画し、論説の部、実践記録の部に分けて原稿を募集しましたところ、論説の部に6編、実践記録の部に7編の応募をいただきました。

論説の部では、イギリスのリーズ市の教育における機会均等方針の内容と意義を述べられる中で、個人を尊重する日本の教育の在り方についての提言を、更に本市の五人の英語指導助手がそれぞれの立場から本市の英語教育にかかわる感想、問題点、提案事項などについて述べております。関係者に是非ご一読いただき、更に議論を深めていただけたら幸いです。

実践記録の部につきましては、学校教育関係者から、社会の変化に主体的に生きる力が育つ社会科学習を日指した実践、一人一人がよさを生かし意欲的に取り組む学習指導の工夫をテーマに、通常の学級における特殊教育推進の在り方についての実践、子どもの心に生きる同和教育を研究主題に掲げ、一人一人の心のつぶやきを感じ取れる教師を目指した実践、物事に生き生きと取り組む子供たちを目指して、自然との積極的なかかわり、基礎・基本の定着、人と人との豊かなつながりを研究の柱として取り組まれた実践、豊かな心をもち、主体的に生きようとする生徒の育成を目指したいいききマイスクールインとちぎの実践、新しい学力観に基づく理科指導の展開と教材の開発に取り組まれた実践、啓発的経験を与える指導を中心とした進路指導の実践など、いずれも今日的な教育課題に真剣に取り組まれた力作であります。

以上、多くの学校教育関係者の方々から日頃の教育上思索や研究実践の成果を発表していただきましたが、これらの論文は、読者のみなさんの教育観を深める大きな契機となるに違いありません。したがって、ここに示された貴重な教育論文を、今後とも各教育現場における日々の実践に十分生かされることを期待いたします。

なお、今年度も、教育論文第1集から昨年度までに掲載された論文のテーマ及び執筆者一覧を付記しましたので、今後の研究の一助としてご活用いただけたら幸いです。

終わりに、論文をお寄せくださった研究者の方々をはじめ、関係の方々にお礼を申し上げるとともに、皆様ますますのご活躍を祈念して序といたします。

平成9年3月

足利市立教育研究所長

吉 田 哲 也